

地球環境基金 ひろげる助成 (2022 年度～3 年計画)

「GIAHS × 学習 × ビジネス = SDGs」プロジェクト

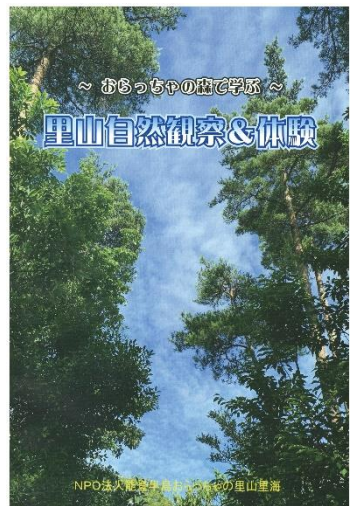
活動1：環境プログラムの検証／活動2：収益プログラムの開発
／活動3：プログラム提供プラットフォームの構築

2012年度から、さまざまな形で助成いただいていた独立行政法人環境再生保全機構の地球環境基金助成事業。本年度からは、「ひろげる助成」として、あらたなプロジェクトに挑戦させていただきました。活動名は、「GIAHS × 学習 × ビジネス // SDGs」プロジェクトです。この中で、これまでの経験を活かし、①環境プログラムの検証②収益プログラムの開発③プログラムの提供プラットフォームの構築—を目指します。昨年まで2期6年間続けてきた地球環境基金LOV EBLUE助成事業では、里海のことを学びました。市内



の小中学校といっしょに進めてきた「グリーンビーチ」、地引網を使った里海調査、秋に開催する「おらっちゃんの里海釣り大会」(小学生の間では大好評)など、これからも継続的にNPOの定期活動として実施していくメニューばかりです。そしてNPOがスタートした時から続けている「おらっちゃんの森」の維持管理と、この森を使った体験型環境学習。さらには、地元の炭焼き業者と連携したクヌギの森整備、蛸島のキリコ祭りを使うクロマツの植林など、やりたいこと、地域のみんなと一緒にやらねばならないこと満載です。

22年度に着手したプログラム「ROMO」の撮影は、NPOの1年間の活動記録でもありません。時間がありません。動画取材と編集を担当してくれた



※この会報は、独立行政法人環境再生保全機構・地球環境基金の助成を受けて制作・発行しています。

エスプリの北澤さんには大変な作業をお願いしたと思いますが、もう1年お付き合っていたら、ビデオを完成させていただくことになりそうです。このビデオをもとに23年度後半からは、修学旅行生や一般の方々を受け入れ、奥能登珠洲の自然に触れていただく機会を提供していきたくて考えています。そして、このプログラムが今後、NPOの活動を継続していくためのツールになっていくことに期待したいと思います。



地球環境基金 ひろげる助成



今年は、「ひろげる助成」として新たなプロジェクトをスタートさせました。



2022.6.29 正院小学校



2022.7.26 大谷小中学校



2022.7.2 直小学校



※珠洲の海岸に漂着した注射針

おらっちゃんの里海 クリーンビーチ

これまで地元の小中学校と行ってきた里海を学びながら守る活動は継続です。6、7月で5校に

学校名	正院小	直小	大谷小中
参加人数	42名	46名	21名
プラスチック	14.9kg	63.4kg	100.0kg
発泡スチロール	1.5kg	3.7kg	3.0kg
金属類	1.0kg	2.5kg	3.8kg
ビン類	0.0kg	5.1kg	2.7kg

声掛けをしたクリーンビーチですが、注射針が多数、珠洲の海岸に漂着したこともあり、いつ

しよに実施できたのは3校でした。結果は表のとおりです。子どもたちは、プラスチックの多さに驚き、ゴミを減らそうと本気で感じてくれたようです。

アサギマダラの マーキング調査

6月4日、5日の二日間、アサギマダラのマーキング調査を行いました。講師は、毎年お願いしている砂山美里子先生です。捕獲・観察場所は、狼煙漁港と寺家海岸です。年々参加者も増え、今年は二手に分かれて観察しました。両日とも風が強く、アサギマダラはなかなか現れませんでした。それでも二日間8頭捕獲しました。その後一人でも捕獲調査を継続した児童は、10日



間で32頭もマーキングしたそうです。どこか遠くで確認されるといいですね。

おらっちゃんの森で 小さい秋見つけよう

10月1日(土)、京都大学の赤石大輔さんを講師に招き、「おらっちゃんの森」で松林の再生とキノコについて学びました。私たち維持・管理している森に、こんなにたくさんのキノコが出ることに驚くと同時に、きのこの生態というのはとても神秘的だと感じました。いつか、「おらっちゃんの森」で採れたマツタケが食べてみたいです。



多田進郎理事長

あいさつ



2022 年もこれまで以上に充実した活動が展開されました。里山里海をフィールドに各種調査、保全活動や遊休地を活用した生産活動など、学校、行政、協賛企業など関係の皆さんのご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今年は通常の活動に加え、二つの特徴的な取り組みがありました。一つは年間のすべての活動を映像化することです。活動内容の共通理解と会員一人一人の知識、技能の向上を図ることができると同時に、NPOの広報、発信につながることが期待できます。もう一つは、里山での体験活動による学びを確実に支援するためのテキストの作成です。小中学生をはじめ都市部の修学旅行生がテキストを活用することで里山や環境教育などへの理解が深まることが期待できると考えています。

また、長年取り組んできた「ドジョウ調査」や小学生による「生きもの観察会」は珠洲市内でのトキの放鳥にむけての重要な取り組みであるだけでなく、この地の生物多様性を実証する貴重なデータが蓄積されてきました。今後はトキの餌場、ねぐら・営巣づくりの適地とするための取り組みも必要となってきます。

今後も皆さんのご支援、ご協力を得ながら取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



も参加してくれました。下草刈りや払った枝のチップ化、倒れた丸太の玉切など、おかげさまでとても見晴らしのいい森になりました。

おらっちゃんの里海釣り大会

秋晴れの空の下、蛸島漁港を会場に、今年で7回目となる「おらっちゃんの里海釣り大会2022」を開催しました。参加者は、珠洲市内だけでなく能登町や金沢市からも申し込みがあり、23組の親子チームで

釣果を競いました。目指すはキスとアブラメですが、タイ、インダイ、クロダイ、アジ、カワハギなど、たくさん種類の魚が釣れ、タコを釣り上げた家族もいました。改めて珠洲の海の豊かさを実感しました。



釣りを終えたら、20分ほど港内を清掃し、一路NPOの事務所に戻って表彰式です。今年の優勝者は、キス7匹を釣り上げた前智子・昊成親子、大物賞は2組で、24cmのキスを釣った辰巳勇・細親子と、21cmのクロダイを釣った宇都宮大輔・孝弘親子でした。

おらっちゃんの森づくり

10月15日(土)、NPOの団体会員でもある能登建設の社長以下社員70名と「おらっちゃんの森」整備を行いました。今年初めて、能登SDGslラボの公式サポーター(当NPOも)である北陸電力からの社員4名

調査事業

モニタリングサイト 1000里地調査

NPOでは、2018年度〜22年度で「モニタリングサイト1000里地調査」（略称：モニ1000）に取り組んできました。本調査は〈百年の長期にわたり里山の変化を早期に把握し、生物多様性の保全施策にあてるための環境省の事業〉です。全国200カ所以上（22年2月現在）の里山で市民ボランティアが中心となりモニタリング調査が行われています。

NPOでは、小泊地区の田んぼ（毎年モチ米を栽培）とその周辺のため池などを「調査サイト」に指定し、アカガエルとホタルの調査



を続けています。今回は、これまでの調査から見える実態をまとめてみました。

アカガエルの調査

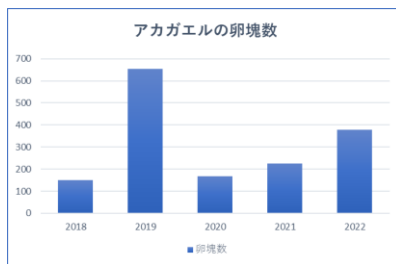
アカガエルは年1回の産卵期にメス1匹あたり卵塊1つを産卵するので、卵塊数を数える

ことで成体の個体数を把握できるそうです。

本年度は3/5、4/8、1週間ごと

に新しい卵塊数を調べました。3/5、3/11日には発見できませんでしたが、3/18に371個、3/27日に新たに7個の卵塊がありました。それ以降は新たな卵塊はありませんでした。

昨年の調査では調査期間（2/27〜3/26）全体で226個の卵塊が発見されています。



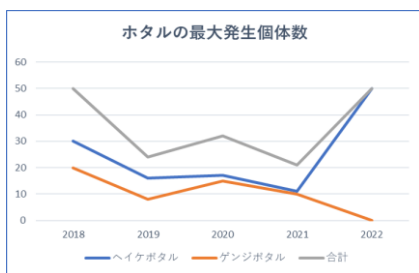
ホタルの調査

ホタルの調査はヘイケボタルとゲンジボタルの飛んでいる成体数を数えます。期間は6/12〜7/14（午後8時ごろ）で、やはり1週間ごとに調査を行いました。

結果は、どの調査日にもヘイケボタルを見ることができました。最大個体数は50匹でした。昨年は21匹でした。各地のモニ1000のデータは、全国で集計され、生物多様性の保護に活用されています。

左グラフは本調査サイト

における第4期調査の変化をまとめました。アカガエルの卵塊数、ホタルの個体数とも、年によって増減はありますが大きな変化は見られません。こ



2022年度はヘイケとゲンジの区別をしなかった

これらの生物にとって棲みやすい環境が維持されているといえます。

その他の調査

また、独自の調査も定期的に進めています。毎年、同じ場所で行うことで、生き物の生態を学ぶとともに、眼では見えない環境の変化に気付くこともできます。

□おらっちゃんの里海調査

3月〜11月まで月に一度の調査を行いました。また、地元の学校や修学旅行生が参加した活動もありました。

□砂ガニ調査

今年で6年目となります。鉢ヶ崎の海岸線で行っています。

□ドジョウ調査

三崎町栗津地区の水田で行っているドジョウ調査は15年から行っています。今年も年4回実施しました。

□アメリカザリガニ調査
今年も亀ヶ谷池の定点調査を3回行いました。

新会員紹介

2022年度は、2月の楠さんご夫妻を皮切りに7名の方が入会されました。23年度はすでに2名の方が入会を申し込まれています。皆さん30代、40代で、そのうえ個性豊かな方たちです。寄る年波に負けそうだった現会員にとって、待ちに待った若い力です。今後の活躍と期待を込めて紹介します（①名前（現住所）②出身地③特技、職業など④NPOでしてみたいことなど）。

【23年度入会】

- ①北澤晋太郎（珠洲市飯田町）
- ②長野県千曲市
- ③デザインと数学
- ④クワガタムシ好きなので、捕まえます。能登の生業や生活や人のお話を記録したいです。

- ①村上ゆり（珠洲市大谷町）
- ②神奈川県川崎市
- ③自然療法医師（カナダの医師免許）
- ④里山里海と共に生きれる環境を続けていくためにできる事や技術を学び行かせていけたらいいと思っっています。また子供たちにも自然の中でいろいろ活動をしていってほしいと思っって参加させていただきました。

【22年度入会】

- ①松田咲香（珠洲市宝立町鵜飼）
- ②石川県珠洲市
- ③フォトグラフィアー
- ④おらっちゃんの森の活用に興味があります。森でできることを考えて楽しみたいです。
- ①木下 靖子（珠洲市若山町）
- ②福岡県北九州市③ビスマ語、人類学、文化研究、島嶼部の暮らし、里海教育

④能登の里山里海に関わる生業について学ぶ、一部でも身につけて自分のできるようになりたいです。

- ①小林秀輝（珠洲市三崎町）
- ②東京都多摩市
- ③金沢大学能登学舎スタッフ
- ④しいたけ栽培からホタル調査に至るまで、おらっちゃ会員の皆さんから里山里海に関する様々な生業の知恵やスキルを学び、素人ながら実践に移していけたらと思っっています。どうぞ宜しくお願ひいたします。

- ①辻口洋史（珠洲市三崎町杉山）
- ②石川県津幡町
- ③家具職人
- ④里山の保全について学び、活動したい。

今年度に入会され、残念ですがお仕事の関係などで、1年で退会された方です。一度できたご縁はいつまでも大切にします。

- ①楠貴裕（金沢市）
- ②高岡市
- ③会社員
- ④田んぼも畑も山も浜も、いろんな体験させて戴いて感謝します。おらっちゃんの会、会員の方々の更なる活躍を祈念いたします。有りがとうございました。

- ①楠美香（金沢市）
- ②羽咋市
- ③看護師
- ④自然豊かな山の中舟に乗ってのじゅんさい摘み取り体験など皆さんから親切に教えて戴いて様々な体験ができたので、感謝しています。一年間有りがとうございました。

- ①僧野達己（珠洲市高屋町）
- ②石川県小松市

2022年度全体事業報告 (2022.1.1~12.31)

活動日	活動内容	参加人数
3月19日	ホダ木の移動へ準備作業	6名
3月26日	ホダ木の運搬	5名
3月28日	シイタケ収穫・乾燥	3名
3月29日	シイタケ収穫・乾燥	3名
3月30日	シイタケ収穫・乾燥	2名
3月31日	シイタケ収穫・乾燥	3名
4月1日	シイタケ収穫・乾燥	3名
4月2日	シイタケ収穫・乾燥、シイタケ菌打ち	10名
4月6日	シイタケ収穫・乾燥、シイタケ菌打ち	4名
4月7日	シイタケ菌打ち	1名
4月9日	シイタケ菌打ち	8名
4月13日	シイタケ収穫・乾燥	3名
4月16日	シイタケ菌入れ	8名
4月23日	シイタケ菌入れ	11名
4月30日	道普請・古いホダ木の処分	7名
5月14日	小泊ピオトープ畦塗り	10名
5月28日	小泊ピオトープの田植え	15名
6月18日	田んぼの畦草刈り・保全林整備(農村ボランティア)	25名
6月29日	クリーンビーチ正院	42名
7月2日	シイタケのホダ木の組み換え、ジャガイモの収穫	8名
7月2日	クリーンビーチ直	47名
7月9日	小泊ピオトープ畦草刈り・ホダ木の組み直し	6名
7月16日	保全林整備、サドクマユリ観察	10名
7月23日	小泊ピオトープ畦草刈り	9名
7月26日	クリーンビーチ大谷	21名
8月27日	畦草刈り	5名
9月3日	小豆畑のつる草取り、ホダ木の組み換え	9名
9月17日	畦草刈り、ハザ立て	7名
9月24日	農村ボランティアで稲刈り、ハザ干し	19名
9月28日	小豆の消毒	2名
10月3日	小泊ピオトープ稲刈り・ハザ干し	5名
10月4日	小泊ピオトープ稲刈り・ハザ干し	2名
10月8日	小豆のサヤぼり	4名
10月15日	能登建設と合同保全活動	82名
10月22日	小豆のサヤぼり、もち米の脱穀	7名
11月5日	小豆の収穫	5名
11月11日	保全林整備(枯木の切り倒し)	1名
11月12日	保全林整備(枯木の切り倒し)	1名
11月19日	小豆の収穫	10名
11月25日	小豆の収穫	5名
11月26日	小豆の収穫	7名
12月10日	小豆の脱穀	9名
12月17日	小豆の脱穀、ホダ木の移動	12名
		462名

12月24日(土)、NPOとして初の試みですが、事務所のある金沢大学能登学舎の皆さんと慰労を兼ねて「餅つき」をしました。

用意したもち米は、NPO

おらっちゃんの慰労会
能登学舎餅つき祭

が毎年、昔ながらの手作業で栽培しているもち米です。春にはアカガエルが卵を産み、夏にはホタルが飛び交い、生きものが生息している田んぼです。秋には農村ボランティアの方たちと稲刈りし、ハザ干ししました。

参加した皆さんで、雑煮やぼた餅、おろし餅などをいた

だきました。ぼた餅のアンコはNPOが栽培し収穫した小豆を炊いたものです。

来年は、コロナが治まって、もっと大勢の人たちと里山里海の恵みを味わいたいです。

編集後記…今年から本格スタートした「おらっちゃんの森」を活用した体験型学習メニュー。大人も子供も、案内する会員も、みんなが楽しめるものになるといいなと思います。

入会のご案内

おらっちゃんの活動に参加しませんか？

会員募集！

持続可能な里山里海の事業づくりに向けて、仲間を募集しています。

<正会員> 運営に携わり、毎月の定例会、1月の総会に参加できます。

年会費 個人 5000円 団体 30000円

<賛助会員> 活動を支援していただき、保全活動に参加できます。

年会費 個人 一口1000円 団体 一口5000円

ご支援のご寄付も受け付けております。

NPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海
理事長 多田進郎
〒927-1462 石川県珠洲市三崎町小泊33-7 金沢大学能登学舎1階
TEL・FAX 0768-88-2528
E-mail satoyamasatoumi2006@gmail.com



